

令和 6 年度 近江八幡市オープンガバナンス推進事業

令和 7 年（2025 年）3 月 19 日（水）

近江八幡市総合政策部企画課

◎令和 6 年度の取組状況

1. 「老蘇学区まちづくりプラン」との連動
2. 北里コミュニティエリア構想ワークショップ
3. LINEオープンチャットの活用
4. オープンデータの公開・更新
5. その他の取り組み紹介



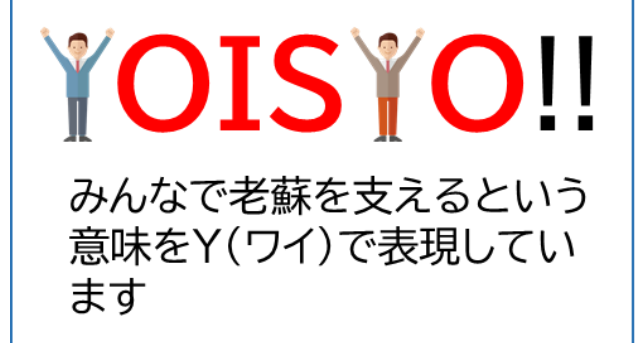
◎オープンガバナンスを推進してきた目的と推進事業の内容

- ・近江八幡市では、市民自ら地域課題を解決する「市民が主役のまちづくり」の実現、人口減少・少子高齢社会においても公共サービスを維持する持続可能社会の実現を目指して、オープンガバナンスの推進を進めてきました。
- ・オープンガバナンス推進事業としては、①市民や事業者等が活用できるオープンデータの公開、②誰もがまちづくりの議論に参加できるプラットフォームの推進の2点に関する環境整備を行ってきました。
- ・特に、これまで取り組んできた「協働」に新たな要素として、デジタル活用によるオンラインプラットフォームなど、デジタル要素を取り入れたまちづくりを模索してきました。

1. 「老蘇学区まちづくりプラン」 との連動

アクション推進組織：Y**OIS**Y**O**!! (ヨイショ!!)

誰もが住み慣れた地域で、生きがいと役割をもって住み続けることができるまちづくりを、住民主体でのまちづくり体制の構築を推進する。



リアル（オフライン）での
オープンガバナンス推進の
モデルに

令和6年度 実施内容

- ・老蘇学区まちづくりプランに基づく、2つのアクションプランを実施
- ①「楽しく外出ができる」→互助輸送の実証実験開始
- ②「あらゆる世代が気軽に出会い、交流できる」→住民主体によるイベントの実施

2. 北里コミュニティエリア構想ワークショップ



老朽化する北里コミュニティセンターの今後のあり方を含む北里コミュニティエリア構想について、地元主導による議論を深めるため、東京大学と連携しワークショップやガリバーマップなどオープンガバナンスの手法を活用しながら地元住民と行政が協働のもとR6年度より事業を推進。

①ガリバーマップの成果・・・巨大な学区の地図の上に乗し、自分たちが住む地域の「魅力や自慢できるところ」「変わってほしいところ」など、自由に記載してもらう機会を創出したことで、今後のまちづくりに関心持ってもらうきっかけを作ることができた。また、文化祭に合わせて実施したことで普段コミュニティセンターを利用されない方やまちづくり協議会の活動に参加されていない住民にもガリバーマップを通して地域における課題の共有、参加者同士での交流を図り、地域活動に愛着を持ってもらうきっかけとなった。



②ワークショップの成果・・・ガリバーマップ等で多かった地域の声を基にしたテーマを設定し、グループ毎で議論を重ねることで、北里コミュニティエリア構想のデザインを作成するための目標や価値を洗い出すことができた。

③今後について・・・北里コミュニティエリア構想に係る具体的なデザイン案の作成するため、引き続き地元・行政が協働のもと、事業を推進していく。

3. LINEオープンチャットの活用

<LINEオープンチャットの導入経過>

- ・誰もが時間や場所を選ばず参加することができる、デジタルプラットフォームとして令和4年8月より運用開始。
- ・スマートフォンなど使い慣れたツールから参加できることのメリットは大きい。一方で、自由テーマによる議論の難しさや担当者の負担等、現状の管理体制での運用が難しかったため、令和6年3月末にて閉鎖。



テーマや目的、期間を限定することでの運用に切り替えることとし、令和6年度は、企画課の事業において活用した。

<活用例>

- ・オーガニックビレッジ座談会（仮称）
- 8名の参加があり、発言者は2名だが、それぞれの意見を発信された。また、意見については、当日の座談会にて参加者へ共有も行った。



オーガニックビレッジ座談会（仮称）

令和7年度の定数削減に向けた「プロ」開催となります。座談会の名称もみなさんと一緒に考えていきます。



2月24日（月・祝）
17:00～19:00

場所 近江八幡市総合福祉センター（ひまわり館）
1階ホール（近江八幡市土田町1313）

対象 農業生産者
食品流通・小売事業者
飲食店
消費者 など有機農業に興味関心のある方など

オーガニックなライフスタイル
近江八幡市では、
有機農業の推進をとおして、
健康で魅力的なライフスタイルが
実現できるまちをめざします。
未来を託した農業のあり方を、
一緒に話し合ってもうませんか。

お問い合わせ
お申し込み

近江八幡市 総合政策部企画課
☎ 0748-36-5527
✉ 010202@city.omihachiman.lg.jp
「氏名」「連絡先」をご連絡ください

LINEオープンチャットにて、事前の意見やアイデア募集を行います。当日参加できない方も、当日参加いただける方も、ぜひオープンチャットからご意見やアイデアをお寄せください。
いただいたご意見やアイデアは、座談会当日に参加者の皆さんに共有し発表させていただきます。



LINEオープンチャット
への参加はこちら

4. オープンデータの公開・更新

○ オープンデータの公開

- 令和3年度より、国の推奨データセットの内、文化財一覧、観光施設一覧など、12種をオープンデータとして開示の上、滋賀県と連携し、「近江八幡市オープンデータカタログサイト」を公開。
- 令和5年度より行政改革課に移管。



◎令和7年1月現在、令和6年度版へデータ更新。

◎今回の更新より、新たに経度・緯度情報を追加。

オープンデータ活用事業者が、マップへの位置情報を追加する際に使用できるようにした。



5. その他の取り組み



まちのコイン

○ デジタル地域コミュニティ通貨「まちのコイン」

滋賀県庁のDX（関係人口創出）施策の一環として展開（2022年7月～）※デジ田交付金活用
（システム利用料、アドバイザー人件費など、費用の全てを滋賀県が負担）

近江八幡市（2022年度モデル地域）

オープンガバナンスプラットフォーム（デジタル／リアル）への
参加インセンティブとしての活用を見込み導入を決定。

コミュニケーション／
関係人口創出ツールとして活用

【令和6年度の活用状況】

◎スタンプラリー

- ・あきんど道商店街（八幡掘祭り、クリスマスイベント、松前フェア）
- ・てふてふ幸せ道商店街（ひなめぐり＆まちコイン）
- ・サンロード商店街（サンロードマルシェ）
- ・京街道商店街（聖徳太子縁日）
- ・バイクの神様ミーティング

◎参加型

- ・あづフェス
（前日・当日サポーター募集）
- ・わたしだけのスペシャル図鑑
（企画課・夏休み企画）